

施策大綱3 (環境共生)

豊かな自然を守り、そして共に生き、100年後に引き継いでいくまち

環境問題は地球規模で取り組むべき課題であり、小さな取り組みの積み重ねと継続が欠かせません。市の豊かな自然環境を次代に継承し、限りある資源やエネルギーの有効利用を図り、地域内で完結する持続可能な循環型社会の構築をめざします。

さまざまな公害の発生を防止するため、観測体制の整備と事業者などへの指導・監督を強化し、防止対策の研究と普及を図ります。

- 新ごみ処理施設の整備
- おいしい食べきり運動
- ペレットストーブ、ペレットボイラー、薪ストーブ設置補助
- 地盤沈下防止のための啓発活動

施策大綱4 (都市基盤)

住みたい、住み続けたいまち

地域の特性や環境に配慮したまちなみ景観と適正な土地利用を促進し、災害や雪に強く、ひとにやさしい、秩序ある快適な都市基盤整備を推進します。

高齢化社会に対応した交通システムや生活道路、災害に強い道路ネットワークの整備を推進し、交通事故のない社会をめざし、交通安全意識の向上と事故防止の環境整備を推進

します。

● 市民バスの運行、路線バスへの運行補助

● 除雪・消雪による冬期の交通の確保

● 公営住宅の再編

● みんな住マイル改修補助金(住宅リフォーム工事への補助)

● 上水道水源の効率的で安定的な確保

● 下水道処理施設の統合

施策大綱5 (産業振興)

豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち

豊かな農作物を産する農業や林業、高速交通網の利便性をいかした商工業、豊かな自然や歴史・文化的資源をいかした観光業など、産業構造のバランスの取れた力強い産業のまちを築き、安定した雇用の創出を図ります。

高速交通網やICTの活用による地域情報の積極的な発信、個性ある地域資源をいかした地域ブランドの創造と販売経路の拡充を図り、人々が集う、まちづくりをめざします。

● 南魚沼産コシヒカリを中心としたブランド力向上や消費拡大に向けた取り組み

● 「育てる」から「利用する」につながる循環型の森林整備(作業道

の整備、森林の保育・除間伐、南魚沼の木で家づくり事業)

● 雪資源を活用した農産物などの高付加価値化

● 「食」をテーマにしたイベントやキャンペーン

● 雇用促進のための企業への助成

● 起業にチャレンジする人材への支援

施策大綱6 (行財政改革・市民参画)

世界にひらく市民が誇りをもてるまち

市民、産業界、教育機関、金融機関、医療機関などの関係機関・団体との協働による活力あるまちづくりを推進し、市民ニーズに迅速かつ的確に対応できる公正で効率的な行政サービスの提供や、市政などの情報公開を推進します。

総合的な都市機能の維持・向上により、若い世代を中心とした人材の市内定着・回帰と、地域間連携・交流の活性化や、総合的な少子化対策を推進します。

性別や人種、国籍、文化などを超えた、時代にふさわしい共感のまちづくりを推進し、多様な人々の交流による地域の賑わいや地域に対する誇りの醸成を図ります。

● 地域コミュニティの活性化(地域づくり協議会への支援、集落集会

所整備・防犯カメラ設置への補助)

● 防災体制の強化(防災ラジオの購入補助、防災マップの配布)

● 近隣自治体や友好都市との広域的な連携

● 移住・定住の促進(若者向け無料帰省バス、首都圏向けセミナー、各種交流イベント、「LIFE in」による情報発信)

● 雪資源活用(雪冷房による暑さ対策、雪の魅力発信)

● ふるさと納税の取り組み

数値目標・施策の達成目標

戦略プロジェクト(4プロジェクト)と本計画の基本施策(33施策)には、その取り組みによる成果の達成度合いを測るための指標と目標値を設定しています。さらに、各プロジェクトには、取り組みの進捗状況を測るための重要業績評価指標(KPI)を設定し、それをすべて基本施策の指標に組み込むことで、目標の達成に向けた一体的な評価と検証に基づく進捗管理を行います。

本計画の詳細は、冊子をご覧ください。冊子は、本庁舎、大和・塩沢市民センター、図書センターで閲覧できます。市ウェブサイト(総合計画)で検索でも公表しています